平成29年２月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月12日

上場会社名　株式会社ＭＯＲＥＳＣＯ　上場取引所　東
コード番号　5018　ＵＲＬ　http://www.moresco.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）赤田　民生
問合せ先責任者　（役職名）上席執行役員 管理本部長　（氏名）大村　洋一　ＴＥＬ　078-303-9010
四半期報告書提出予定日　平成28年10月12日　配当支払開始予定日　平成28年11月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

１．平成29年２月期第２四半期の連結業績（平成28年３月１日～平成28年８月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
29年２月期第２四半期	13,097	0.4	1,039	△2.9	1,070	△8.9	634	△10.5
28年２月期第２四半期	13,050	1.6	1,071	8.4	1,175	5.6	708	8.9

（注）包括利益　29年２月期第２四半期　△35百万円（－％）　28年２月期第２四半期　845百万円（40.2％）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年２月期第２四半期	65.56	－
28年２月期第２四半期	73.28	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
29年２月期第２四半期	23,603	13,982	53.1	1,297.60
28年２月期	24,845	14,251	51.3	1,318.48

（参考）自己資本　29年２月期第２四半期　12,544百万円　28年２月期　12,746百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年２月期	－	20.00	－	20.00	40.00
29年２月期	－	20.00			
29年２月期（予想）			－	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．平成29年２月期の連結業績予想（平成28年３月１日～平成29年２月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	27,300	3.9	2,100	△1.2	2,500	5.1	1,600	4.9	165.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
　　新規　－社　（社名）　　　　　　　　　　　　、除外　－　社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年２月期２Ｑ	9,668,000株	28年２月期	9,668,000株
②　期末自己株式数	29年２月期２Ｑ	610株	28年２月期	610株
③　期中平均株式数（四半期累計）	29年２月期２Ｑ	9,667,390株	28年２月期２Ｑ	9,667,390株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

　この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

　業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

　平成28年10月31日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10
４．補足情報 …… 11
（１）製品およびサービスに関する情報 …… 11
（２）海外売上高 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が依然弱含みの状況の中で、円高の更なる進行も相まって、景気は足踏み状態で推移しました。また、海外経済については、米国経済は緩やかながらも拡大基調で推移した一方で、減速傾向にある中国経済や英国のＥＵ離脱問題の発生等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、売上数量は前年同期を上回る実績であったものの、原材料価格低下に伴う製品販売価格の下落および円高進行に伴う外貨建て売上高の邦貨換算額の減少により、売上高は13,097百万円（前年同期比0.4％増）にとどまりました。利益面では、原油、ナフサ市況に連動した原材料価格の低下に加え、有利購買の推進や製品収率向上等コスト低減活動が奏功し、売上原価の低減は図れたものの、人員増や減価償却負担増に伴い販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は1,039百万円（前年同期比2.9％減）、円高の影響による為替差損の計上により、経常利益は1,070百万円（前年同期比8.9％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は634百万円（前年同期比10.5％減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①日本

（特殊潤滑油）

主要顧客である自動車関連では、熊本地震等の影響により、国内自動車生産台数が前年同期に比べ減少する中で、売上数量は前年同期を上回ったものの、原材料価格低下に伴う製品販売価格の下落により、売上高は前年同期並みにとどまりました。そうした中で、熱間鍛造潤滑剤、冷熱媒体および不凍液の売上高は、新規顧客の獲得等により、前年同期を上回る結果となりました。

（合成潤滑油）

高温用合成潤滑油の売上高は、自動車用ベアリング向けグリース基油用途での国内出荷が低調であったことにより、また、ハードディスク表面潤滑剤については、ハードディスクドライブの生産数量減および外貨建て輸出売上高の邦貨換算額の減少により、前年同期を下回る結果となりました。

（素材）

流動パラフィンは、ポリスチレン、化粧品、医薬品用途での出荷が堅調に推移したことに加え、リチウムイオンバッテリー用途での出荷も好転したことにより、売上数量は前年同期を上回る実績であったものの、原材料価格低下に伴う製品販売価格の下落により、売上高は前年同期を下回る実績となりました。また、金属加工油の添加剤として使用される石油スルホネートについても、既存顧客向けの出荷が増加したことにより、売上数量は前年同期を上回ったものの、売上高は前年同期並みにとどまりました。

（ホットメルト接着剤）

主力である大人用紙おむつ等の衛生材用途が堅調に推移するとともに、粘着用途での新規顧客獲得等より、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は10,091百万円（前年同期比0.8％増）、セグメント利益は650百万円（前年同期比1.2％増）となりました。

②中国

小型車向け減税策の効果により、自動車生産台数が前年同期に比べ増加したことおよび新規顧客への拡販が進展したこと等により、特殊潤滑油の売上高は現地通貨ベースでは前年同期を上回ったものの、邦貨換算額は前年同期を下回りました。一方で、昨年にホットメルト接着剤の生産を開始した天津の子会社は、着実に売上高を伸ばしつつあります。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,361百万円（前年同期比1.0％増）となりましたが、天津子会社の稼動に伴う費用の増加等により、セグメント利益は107百万円（前年同期比27.2％減）にとどまりました。

③東南アジア

特殊潤滑油については、自動車生産が回復し始めたことに加え、新製品の投入や新規顧客への拡販が進展したこと、ホットメルト接着剤についても新製品の投入等により、現地通貨ベースでの売上高は前年同期を大幅に上回りましたが、邦貨換算額は前年同期比微増にとどまりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,012百万円（前年同期比1.3％増）となり、原価低減等によりセグメント利益は217百万円（前年同期比8.2％増）となりました。

④北米
　堅調な自動車生産を背景に、ダイカスト用油剤が大きく売上数量を伸ばしましたが、売上高の邦貨換算額は前年同期比微増にとどまりました。
　以上の結果、当セグメントの売上高は431百万円（前年同期比1.3％増）となりましたが、販売要員増に伴う販売費の増加により、セグメント利益は25百万円（前年同期比42.3％減）にとどまりました。

（２）財政状態に関する説明
①資産、負債および純資産の状況
　当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,242百万円減少し、23,603百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が188百万円、たな卸資産が350百万円、有形固定資産が336百万円、投資その他の資産が212百万円それぞれ減少したことによります。
　負債は、前連結会計年度末に比べて973百万円減少し、9,621百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が449百万円、短期借入金が355百万円、その他流動負債が206百万円それぞれ減少したことによります。
　純資産は、為替換算調整勘定の減少等により前連結会計年度末に比べて269百万円減少し、13,982百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況
　当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前第２四半期連結会計期間末に比べて115百万円増加し、2,204百万円となりました。
　各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。
　営業活動によるキャッシュ・フローは1,352百万円の収入（前年同期は560百万円の収入）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上およびたな卸資産の減少、主な減少要因は、持分法による投資利益、売上債権の増加、法人税等の支払額であります。
　投資活動によるキャッシュ・フローは655百万円の支出（前年同期は1,198百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出等によるものです。
　財務活動によるキャッシュ・フローは505百万円の支出（前年同期は471百万円の収入）となりました。これは、短期借入金の純増減額等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
平成28年４月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成25年９月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第１四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第１四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第２四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－２項(4)、連結会計基準第44－５項(4)および事業分離等会計基準第57－４項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第１四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号　平成28年６月17日）を第１四半期連結会計期間に適用し、平成28年４月１日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成28年２月29日）	当第２四半期連結会計期間 （平成28年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,412	2,443
受取手形及び売掛金	6,321	6,133
商品及び製品	2,517	2,270
原材料及び貯蔵品	1,473	1,370
その他	446	366
貸倒引当金	△25	△24
流動資産合計	13,144	12,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,196	3,024
機械装置及び運搬具（純額）	1,812	1,734
土地	2,428	2,416
その他（純額）	646	572
有形固定資産合計	8,083	7,747
無形固定資産		
のれん	984	920
その他	694	650
無形固定資産合計	1,677	1,570
投資その他の資産	1,941	1,728
固定資産合計	11,701	11,045
資産合計	24,845	23,603

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年２月29日)	当第２四半期連結会計期間 (平成28年８月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,574	4,125
短期借入金	2,211	1,856
未払法人税等	157	173
賞与引当金	468	445
その他	1,079	873
流動負債合計	8,489	7,472
固定負債		
長期借入金	1,548	1,622
退職給付に係る負債	378	377
その他	179	150
固定負債合計	2,104	2,149
負債合計	10,594	9,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,091	2,091
資本剰余金	1,951	1,951
利益剰余金	8,323	8,763
自己株式	△1	△1
株主資本合計	12,364	12,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	32
為替換算調整勘定	576	△90
退職給付に係る調整累計額	△211	△201
その他の包括利益累計額合計	382	△260
非支配株主持分	1,505	1,438
純資産合計	14,251	13,982
負債純資産合計	24,845	23,603

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年３月１日 至　平成27年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年３月１日 至　平成28年８月31日）
売上高	13,050	13,097
売上原価	8,824	8,727
売上総利益	4,227	4,369
販売費及び一般管理費	3,156	3,330
営業利益	1,071	1,039
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	11	11
持分法による投資利益	101	114
補助金収入	8	57
その他	27	45
営業外収益合計	156	237
営業外費用		
支払利息	10	11
為替差損	39	191
その他	4	5
営業外費用合計	52	207
経常利益	1,175	1,070
税金等調整前四半期純利益	1,175	1,070
法人税、住民税及び事業税	303	266
法人税等調整額	39	37
法人税等合計	343	303
四半期純利益	832	766
非支配株主に帰属する四半期純利益	123	133
親会社株主に帰属する四半期純利益	708	634

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年３月１日 至　平成27年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年３月１日 至　平成28年８月31日）
四半期純利益	832	766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	16
為替換算調整勘定	20	△750
退職給付に係る調整額	8	9
持分法適用会社に対する持分相当額	11	△76
その他の包括利益合計	13	△801
四半期包括利益	845	△35
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	737	△9
非支配株主に係る四半期包括利益	108	△26

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年３月１日 至　平成27年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年３月１日 至　平成28年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,175	1,070
減価償却費	369	499
持分法による投資損益（△は益）	△101	△114
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△29	74
賞与引当金の増減額（△は減少）	△18	△20
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3	△27
受取利息及び受取配当金	△19	△21
支払利息	10	11
売上債権の増減額（△は増加）	526	△104
たな卸資産の増減額（△は増加）	165	201
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,014	△73
その他	△120	△20
小計	940	1,475
利息及び配当金の受取額	134	132
利息の支払額	△9	△12
法人税等の支払額	△510	△243
法人税等の還付額	6	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	560	1,352
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△100	92
有形固定資産の取得による支出	△1,004	△733
無形固定資産の取得による支出	△27	△8
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付金の純増減額（△は増加）	1	1
その他	△66	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,198	△655
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	237	△477
長期借入れによる収入	930	650
長期借入金の返済による支出	△428	△443
配当金の支払額	△218	△193
非支配株主への配当金の支払額	△32	△22
その他	△18	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	471	△505
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	△31
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△132	161
現金及び現金同等物の期首残高	2,221	2,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,090	2,204

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成27年３月１日　至　平成27年８月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,310	1,344	1,971	426	13,050	―	13,050
セグメント間の内部売上高又は振替高	700	4	15	―	720	△720	―
計	10,010	1,347	1,986	426	13,770	△720	13,050
セグメント利益	643	147	200	44	1,034	37	1,071

（注）１．セグメント利益の調整額37百万円には、セグメント間取引消去39百万円、たな卸資産の調整額△2百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成28年３月１日　至　平成28年８月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,335	1,345	1,995	421	13,097	―	13,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	756	16	17	10	799	△799	―
計	10,091	1,361	2,012	431	13,896	△799	13,097
セグメント利益	650	107	217	25	999	40	1,039

（注）１．セグメント利益の調整額40百万円には、セグメント間取引消去29百万円、たな卸資産の調整額12百万円および貸倒引当金の調整額△1百万円が含まれております。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．補足情報

（１）製品およびサービスに関する情報

当第２四半期連結累計期間（自　平成28年３月１日　至　平成28年８月31日）

外部顧客への売上高	金額（百万円）	前年四半期比（％）
化学品事業	13,070	100.4
特殊潤滑油	5,953	99.4
合成潤滑油	1,309	90.9
素材	1,665	96.3
ホットメルト接着剤	3,364	102.8
その他	779	131.6
賃貸ビル事業	27	99.0
合計	13,097	100.4

（２）海外売上高

当第２四半期連結累計期間（自　平成28年３月１日　至　平成28年８月31日）

	アジア	北米	その他の地域	計
Ⅰ．海外売上高（百万円）	4,208	632	52	4,892
Ⅱ．連結売上高（百万円）				13,097
Ⅲ．連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	32.1	4.8	0.4	37.3

（注）１．地域区分は、地理的近接度により区分しております。
２．各区分に属する主な国又は地域
アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール
北米………………米国、メキシコ
その他……………アラブ首長国連邦、オーストラリア
３．海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。